

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

市は、「豊中市子ども健やか育み条例」に基づき、「豊中市子育て支援行動計画」を策定し、子どもの健やかな育ちに関し、子育て・子育ての支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。この計画の令和3年度(2021年度)の事業実施状況について、市内の小中学校放課後こどもクラブ、中学校、高等学校でヒアリングを実施しました。《令和4年(2022年)12月～令和5年(2023年)2月実施》

令和3年度のみなさんからの声を聞いて、豊中市ではこんなことに取り組みました！

<相談窓口などの周知方法について>

- 小中学生が使用しているタブレットを活用したらどうでしょうか。
- クリアファイルやボールペンなど、文房具の方が使えて目にする機会も多いと思います。



- こども専用LINE相談「とよなかっ子ライン」が、市立小中学校で配布されるタブレットからも相談できるようになりました。
- いじめ予防の啓発・促進のため、中学校の生徒会執行部をはじめとした生徒が主体となり、クリアファイルなどのオリジナルグッズを作成、各中学校で配布するなどしました。



<居場所について>

- 友だちと教えあいながらや、食事をしながらなど自由に自習ができるスペースがほしいです。



- 市有施設における子どもの居場所づくりを進めるため、勉強したり遊んだり休憩したり子どもや子育て世帯が気軽に自由に使えるスペースを確保しています。開放しているスペースについて、対象者やできることなどを小学校区ごとにわかりやすく一覧にしたものを市ホームページで公開しました。



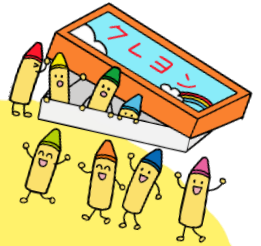
市HP



地域のお知らせやイベント情報などを届けるためには？

<普段の情報収集ツールは？>

- 学校の案内(チラシなど)
- まちの掲示板(ポスターなど)
- SNS(インスタグラム、ツイッターなど)
- 家族や友人からの口コミ



<情報発信について>

- 地域の掲示板などに貼ってあるポスターを生徒で描いてみたいです
- 市の発信するものの表現は興味をもつにはかたいので、やわらかい表現がいいと思います

<情報の周知方法について>

- 学校や先生を介してのお知らせだと安心感があります
- 公式に市内のイベントだけが載っているサイトがあると嬉しいです



受け取る情報について「安全なものかどうか」ということを、みなさんが普段から注意しながら、情報を得ていることがよく分かりました。

豊中市では、広報誌「広報とよなか」や豊中市LINE公式アカウントなどを使って様々な情報をお届けしています。今後も皆さんにとって、安心感があり、わかりやすい情報の発信ができるように努めます。



広報戦略課


豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

デートDVやDVについて知ってもらうためには？


- ネットで調べて間違っただ情報を知るよりは先生から正しいことを聞いて学びたいです
- 授業の中でDVD等動画を通して学ぶことで興味がわくと思います
- 基本的な内容について知っておけば、友だち同士で話している時に気付きにつながり、相談しやすくなるのではないのでしょうか

デートDVやDVに関するリーフレットやカードの配布、予防啓発冊子の作成など、予防に関する周知啓発に努めています。

今後、誰にでも身近に起こりうる問題であることを知ってもらえるように、皆さんのアイデアを参考にしながら情報の発信に取り組めます。


 人権政策課

18歳から“大人”になることについてどう思いますか？

-  生徒
- クレジットカードが作れたり、1人でできることが増えて、早く一人立ちができるようになることがうれしいです
 - 選挙でできるだけ多くの人の意見を反映できるのは良いことだと思います
 - 契約についてなど、まだ知識が完全でない状態なので、犯罪に巻き込まれる危険性があり不安です
 - できること、できないことについて、あまりイメージができません

18歳になると、自分でできることが増えると同時に、みなさんを守っていた権利がなくなり、大きな責任を伴う行動が増えていきます。

みなさんが不安に思っていることを少しでも解消できるように、今後も契約などに関する出前講座の実施や、DVDを活用した周知啓発に努めます。

 くらし支援課

ほかにもたくさんのご意見を聴かせていただきました！


対面授業がいいです。休み時間や教室移動時間など隙間時間に友だちと雑談するのが楽しいです。


高校生との交流があればいいと思いました。「勉強しておいた方がいい」等の教訓を聞きたいです。

豊中市が色々なことをしていることが分かりました。自分に協力できることがあれば協力したいです

自分のペースで相談することができるのでLINE相談はあった方がいいと思います。

大人よりも同じ境遇や世代の人と話すほうが落ちつきます。子ども同士が相談しあえたらいいと思います。

 生徒

 児童

＜小学生むけのアンケート＞
「うれしいことや悲しいことがあった時にお話できる大人はいますか」
(回答数が多い順)

- ①おうちの人
- ②担任の先生
- ③おじいちゃん・おばあちゃん
- ④放課後こどもクラブの先生
- ⑤ならいごとの先生

意見はまだたくさんあります！



こども政策課

具体的な提案を含め、たくさんアイデアをいただきました。今後も広く意見を聞きながら、子どもの社会参加の手法や市の取り組みへの反映方法について検討していきます。

島田小学校放課後こどもクラブ、箕輪小学校放課後こどもクラブ、第七中学校、第十七中学校、第十八中学校、桜塚高等学校、千里青雲高等学校、豊島高等学校、豊中高等学校の児童・生徒のみなさん合計126人にご協力いただきました。

たくさんのご意見をありがとうございました。